

アルゴリズムの理論研究： マッチングとマトロイドパリティ

小林 佑輔 氏 (京都大学 数理解析研究所)

マトロイドパリティ問題はマッチング問題とマトロイド交叉問題の共通の一般化として1970年代に導入された問題であり、線形マトロイド上の問題に対しては Lovász (1980) が多項式時間アルゴリズムを与えている。マッチングアルゴリズムやマトロイド交叉アルゴリズムは重み付き問題へ拡張がなされているのに対して、重み付きの線形マトロイドパリティ問題の多項式時間アルゴリズムは30年以上の間知られていなかった。

講演者らは、東京大学の岩田覚教授との共同研究で重み付き線形マトロイドパリティ問題に対して初の多項式時間アルゴリズムを与えた。本講演ではアルゴリズムの理論研究がどのようなものかを概説したのち、今回扱った重み付きの線形マトロイドパリティ問題がどのような問題であるかを紹介する。

2019年11月25日(月) 13:30~14:30

法政大学 小金井キャンパス 西館 W6010 号室